



2014~2015年度 ROTARY CLUB OF TOYOKAWA HOI CLUB WEEKLY

やらまいか

例会日/毎週火曜日 12:30 例会場/豊川商工会議所

会長/滝下 勲 幹事/伊藤正幸 会報委員会/河本圭史・大場 篤

事務局/豊川市豊川町辺通4-4 豊川商工会議所会館内 TEL0533-86-2535 Fax0533-86-8889

HP/<http://toyokawahoi.tank.jp>

クラブテーマ: 和の心と・地元へ奉仕を

| | | | | | |
|-----------------------------------|------|------|------|-------|------------|
| 本年度第19回 通算1365回 平成26年11月18日(火) | 出席報告 | 会員総数 | 出席者数 | 出席率 | 11/4 修正出席率 |
| | | 59名 | 31名 | 60.8% | 98.1% |

ゲスト: 100万本の桜プロジェクト 代表 松井章泰さん(新城RC) ビジター: メーキャップ受付16名

★会長あいさつ

滝下 勲会長



皆さん、こんにちは。世間が騒がしくなっています。衆議院解散と消費税増税18ヶ月延長、そして高倉健さん亡くなら

れたというニュースは、すこし淋しい気持ちになりました。

先週、秋の行楽で伊豆方面に行きまして参りました。参加された皆さんありがとうございました。米山梅吉記念館に行き、例会を行いました。クラブ創立以来、1度も行ったことがなく、そこで初めての例会を開催することができまして、クラブとして歴史的な1日だったと思います。クラブバナーの交換をしまして、米山記念館のバナーを頂いて参りました。そして川奈ホテルの温泉が意外と良かったです。夜の食事はフレンチコースで、フランス料理で宴会をするのも味なものだと思いました。翌日は川奈の富士コースでゴルフをやり、皆さんで楽しく行って来ることが出来ました。ありがとうございました。



報告事項として、奥三河RCの会長より手紙が参りました。過疎化、高齢化等の問題により、本年度末の2015年6月末でクラブを閉じるようになったとの報告が参っています。

11月8日に地区審議会が行われて出席をして参りました。この会議は、3年に1度行われる規定審議会に立法案を提出するかどうかの会議で、地区内から5つの立法案が提案され、4つ却下され、1つの立法案を提出することになりました。

11月6日に豊川アスリートサポーターズクラブの通常総会に出席させて頂き、懇親会にも参加させて頂きました。講師の豊川東部中の山田先生の話をお聞きしました。県大会は優勝できず残念でしたが、中学生の駅伝の指導の仕方などの話を聞きました。

11月16日のトヨカワシティマラソンに参加された皆さん、TASCでボランティアをされた皆さんお疲れ様でした。

★幹事報告

伊藤正幸幹事

例会臨時変更について

愛知Eクラブ会長変更について

地区審議会の報告について

台湾台中松竹RC会報の回覧について



★クラブフォーラム(30周年準備委員会)

委員長あいさつ

小野喜明委員長



本日の例会はクラブフォーラムで、30周年準備委員会が担当をさせて頂きます。前年度のステップアップ委員会が取りかか

っていた桜の植樹、30周年準備委員会でも何とか実現できないかという願いがあります。この地域で桜と言えば、新城市で8年近く活動をされている松井さんという方がお見えになります。新城RCのメンバーということもあり、桜プロジェクトについて卓話をお願いしました。地域の事情も含めて色々とお話を頂き、30周年に豊川で実現できるかどうか検討して行きたいと思えます。よろしくお願ひします。

ここで、30周年準備委員会より報告です。兼ねてより検討を重ねまして、来年の30周年記念式典の日程を決めました。2015年10月20日(火)夕刻より、会員であるプリエールにて式典と懇親会を行う予定です。これから準備を進めていきますので、よろしくお願ひします。

「人が動く 地域が動く 桜の魅力」

100万本の桜プロジェクト 松井章泰氏



こんばんは。新城からやってきました松井と申します。現在43歳、まだ若輩者ですが、皆さんのお役に立てるように話をさせて

させて頂きます。どうぞ、よろしくお願ひします。

桜のボランティア活動をしています。10年計画で8年が経過しています。会社経営もこの桜プロジェクトも事業として見立てた時に同じだと思います。ただ、会社経営とボランティアの違う点は、契約が無いという事です。会社で社員に厳しく言っても次の日も出勤してきてくれます。ボランティア活動を8

年やってきて、つくづく思う事は契約の無いことで、ちょっと厳しいことを言うとボランティアの仲間は、次からは二度と来なくなってしまいます。協力もしてくれない。かといって、下手に出ることも出来ません。企画当初の200日ぐらひは、ずっと一人で孤独に活動をしていました。その辛い時期がありましたので、仲間の大切さが良くわかったことと、人との付き合い方が勉強になりました。

一人から始めた企画もお陰様でボランティア1万人を超えました。桜プロジェクトは、2年前に全国の5団体に選ばれて、皇室の方同席の元で特別表彰を受けました。個人としては、今年の5月に、日本の10人に選ばれて、公益財団法人日本花の会の愛知県初の公認桜アドバイザーに任命されました。4年前に桜の全国会議があり、1,000人の先生の前に40分発表をしてきました。そうしたら、この東三河で行っている活動を、全国の先生も見たいという事で、来年の春に新東名開通記念として、奥三河4市町村が共同開催することが決まっています。行政は、この企画に対して協力的ではありませんでした。ほとんど、ダメの連続でした。時を経て、4市町村での開催ができることになったことには感謝をしています。新城市はもちろん、豊橋市も連携がとれているし、岡崎市とも連携がとれています。行政、そして企業とも連携がとれて8年前では考えられなかったことになっています。人との繋がり、組織との繋がり、地域との繋がり、桜によるご縁で出来ました。

戦後たくさん植えたソメイヨシノの桜が、寿命60年なので、かなりの高齢化になっています。植えたところが、街路地や公園なので、管理者である行政が財政難で管理が出来ていなく、人間以上にかかりの高齢化社会を迎えているソメイヨシノをどうするかというのが全国的な問題になってきています。それを打破する企画が、私たちが立ち上げた「秋のさくら祭り」という企画です。それが全国的にも評価されています。それを紹介します。

桜淵公園は350年の歴史ある公園です。お城の城址が植えたのが始まりだと言われています。毎年1,000本の植樹をしています。我々のこだわりは、ソメイヨシノは1本も植えていません。ヤマザクラを中心とした原種の桜です。ヤマザクラは樹齢2~300年、エドヒガンは樹齢300年以上だと言われています。秋のさくら祭りは、春に花を咲かせるために秋

に手入れをする。その作業ボランティアのイベントになります。毎年11月第3日曜日にやっています。今年が第7回目で、11月16日終えたところです。1日に1,000人以上のボランティアが集まります。1回目のまつりの時に、桜渚の桜はかなり弱っていて、専門家に言わせると腕も足も折れている人間を外に放置している状態だと言われました。それを市民が手入れをしようとしたら、行政はダメだと言いました。私に知識がない、経験がない、組織がないから行政はダメだと言いました。色々と回り道をして1年半経って「秋のさくら祭り」第1回目が出来ました。

1本の木を手入れするために、東京から専門家を招いて、市民10人規模でやりたいということに対して行政から許可が下りたので、その10人を100人、1,000人規模にイベント化したものが「秋のさくら祭り」です。

この時、手配りで1万枚のチラシを配りました。配りながら思ったのは、ダメだからダメじゃダメ、どうしたら出来るのか、考えに考えて1年半掛りましたが、それが回り道ではなく、最短コースだったのではないかと後になって思いました。

僕らは手入れの仕方がわからないので、全国の先生に声掛けをしまして来てもらいました。全国の先生方に思いを伝えて、全員ボランティアで、交通費も出さずに来てもらっています。皆さん、心が伝われば、動いて頂けるんだと実感しています。日曜日も10名の先生が全国からお越し下さり、こちらのスタッフ、ボランティア参加者に、桜に関する指導を頂きました。

肥料は毎年300kg用意します。30cmの穴を掘らないと雑草の肥料になってしまいます。30cmの穴を1,000個掘ります。1本の木に15個の穴を掘り、100本くらいに肥料を毎年あげています。桜渚に約1,500本の桜がありますので、豊川左岸の桜の手入れは終わり、今年から豊川右岸の手入れを行っています。

テング巢や宿木を剪定するのに、トーエネックさんの高所作業車に協力頂いています。初年度に挨拶に行ったら、ぜんぜん話にもなりませんでした。2年目も話になりませんでした。3年目で許可がおりました。但し本社の許可が下りなくて、豊川の所長が責任を取るから5台使えと言ってくれた一人の思いから、今では毎年貸してくれるようになりました。借りた2年目にトーエネック社内の社会

貢献部門で大賞を取られたそうです。そこからは、所長が変わっても協力頂いています。

色んな方が協力をしてくれます。写真協会の皆さんが協力してくれます。撮った画像の権利を全てくれるので、その画像をこのような講演の時に使わせてもらったり、銀行や病院に写真を展示して情報発信に使わせてもらっています。

桜に苔がついていたので、竹ペラで取ることにしました。翌年、豊川の建設会社の社長が高圧洗浄機を持ってきてくれて洗浄しました。これが面白いように取れました。参加者が水鉄砲のようで面白いと言って、インターネットやブログで情報発信をしてくれました。まず建通新聞という業界紙の1面に載りました。通常は外壁を洗浄するのを、別の形で使ったという事例で紹介してくれました。次に高圧洗浄機の世界最大手のケルヒージャパンから連絡が来ました。自由の女神やフランスの凱旋門、東京の日本橋を清掃している会社から、この企画に協力したいと連絡が来ました。最初の高圧洗浄機がケルヒヤー製だったことと、ケルヒヤー企業理念が新たな清掃文化を作る事ということで、我々の企画に乗ってくれました。ドイツから特注のホースを取り寄せ、毎年タダで貸してくれます。

桜渚の桜を3年ぐらい手入れしていたら、地域の人たちから自分の所の桜の手入れがしたいと要望が来るようになりました。4年目から出張サービスを始めました。高所作業車1台(トーエネックさん提供)、オペレーター1名(地元の電気屋さん)、さくら守1名(当支部会員)の3点セット無料で始めました。とても好評で、去年は富永神社、新城駅に出張しました。

戦後に植えた桜が数百万本だと言われていいます。その管理が出来ていない状態です。僕らは市民レベルで手入れをしようという事で動いている企画が秋のさくら祭りであり、全国的にそのような企画が桜の世界ではないという事で、かなり高い評価を受けています。新城だけでなく、この地域の桜を何とかしたいという思いはありますので、協力できることがあれば、協力させて頂きたいと思っています。

事業展開についてはお話をします。発想の転換で、春ではなく秋、作業ではなくお祭り、ボランティアではなく事業です。ボランティアは奉仕ですが、僕らはみかえりを求める事

業です。桜の元気、新城の元気です。人が集まり事業が始まると、必ずそこに問題が発生するのは、人、お金、時間の問題です。この問題を解決して行けば上手く行くのではと思っています。

心を救ってくれる1%理論。100人に声を掛けて1人参加してくれたら大成功だという考え方です。賛同者を増やすのではなく、協力者を増やして行くことが大事で、事業展開が成功して行くための考え方だとわかりました。秋のイベントに1,000人集めるために、数万枚のチラシを配っています。ポスター1,000枚、チラシ60,000枚で600人集まれば成功で、1,000人集まったので大成功です。

桜の桜の手入れに専門家は3億円掛ると言いました。平成19年の新城市は、財政難で市民プールが閉鎖、市民病院も医者がほとんど居なくなりました。だから僕らは動きました。3億円の再生費のほとんどが業者に支払う人件費でした。それを市民でやると3億円が浮きます。これが桜プロジェクトの構想です。これを情報発信することで、市民が理解して動いてくれました。全国の先生たちが新城に来てくれて、帰ってこの企画を地元で話をしてくれる。営業マンになってくれるのです。1,000人のボランティアの7割が市外の人で、この人たちも地元に戻ってイベントの情報発信をしてくれるのです。外の人たちがPRをしてくれて、秋のさくら祭りにどんどん協力してくれます。年々とイベントが成長しています。情報を出すことによって、人が、お金が集まってきます。

今日のこの話が皆さんにとって必要になったなら幸いです。豊川の桜が益々元気になる事を願っています。ご清聴ありがとうございました。

まとめの言葉 度会尚志副委員長

本日は貴重なお話をありがとうございました。桜プロジェクトの構想など大変参考になりました。ありがとうございました。

★ニコニコボックス

ゴルフ同好会 ニコボックスへ協力金
高桑 耐会員 事業所創業を祝って頂き
大場 篤会員 結婚記念日を祝って頂き

★TASC活動の報告

11月16日豊川市陸上競技場でトヨカワシティマラソンが開催され、今年もTASCは大会に協力をしました。

早朝より準備、そして終わってからの片付けとお手伝いを下さった皆さんありがとうございました。



会報担当：河本圭史会員・大場 篤会員